

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 広島県立御調高等学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
所在地 〒 722 - 0341
広島県尾道市御調町神204-2
E-mail mitsugi-h@hiroshima-c.ed.jp
Website <http://www.mitsugi-h.hiroshima-c.ed.jp/>
児童生徒数：男子 95 名 女子 79 名 合計 174 名
児童・生徒の年齢 15 歳～ 18 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



UNESCO
Associated
Schools

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います

・平和へのメッセージ

「平和へのメッセージ」の取組が2年目となる今年度は、被爆70年を迎えるということもあり、さらに広げていきたいと考えました。そこで、5月27日(水)に御調町在住の原爆を体験された、あるいは当時の状況をよくご存じの方々8名に本校においていただき、全校生徒に対してお話をしていただきました。その後、生徒一人一人が平和を求めるメッセージをカードに書き、そのカードを用いてボランティア生徒がモザイクアートを制作しました。原画は、地元御調町出身の彫刻家、圓鏑勝三氏の、平和への思いが込められた「朝」という彫刻作品です。これは、文化祭で展示し、当日訪れた方にもメッセージを書いて貼っていただきました。

また、活動を県外の高校との交流の場にも広げ、7月19日(日)には同じユネスコスクールである宮城県気仙沼高校を書道部の生徒有志が訪れて、東日本大震災の状況や体験された方々の思いをお聞きするとともに、書道パフォーマンスを披露しました。また、美術部の生徒は、同じ被爆地、長崎県の中高一貫教育校である長崎県立大崎高校の生徒とアートリンクで交流しました。アートリンクとは、2者が一つのテーマでそれぞれ半面ずつ描いて、1枚の絵を仕上げるといったものです。8月9日(日)に生徒有志が同校を訪問し、平和集会に参加するとともに、原爆と平和をテーマに、半分だけ仕上げた絵2枚を渡して、もう半分を描いていただくよう依頼しました。完成したものは縦2m、横5mの大作で、1枚は大崎高校で、1枚は本校で保管します。

12月には、これらの活動と作品の報告披露会を、お話しをいただいた被爆者の方と全校生徒に対して行いました。また、御調地域の小中高合同文化祭でも披露しました。

これら様々な活動を通して、生徒たちはたくさんのことを学び、感じ、考えました。遠い記憶になろうとする原爆を語り継ぎ、平和への思いを次世代につなぐ役割を改めて自覚してくれたようです。





(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）